

SOZAN Global Can-do List (教科：中学技術)

目指す生徒像 (教科)	生活の自立に向けて主体的に活用できる知識と技術の習得し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせつつ、家庭や地域など様々な場面において課題を設定し、解決へ向けて実践でき、グローバルリーダーとして貢献できる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	① 幅広く深い教養	② 課題発見・解決能力	③ 新たな価値を創造する力	④ 主体的に行動する力	⑤ 他者と協働する力	⑥ 自他を尊重する心
J3	・エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付けた上で、技術と社会や環境との関わりについて理解することができる。	・エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見つけたとともに、その解決のために工夫し、最適解を見つけることができる。	・学習した知識をもとに考えた最適解を図やプログラム、製品などに表現し、創造することができる。	実践的・体験的な学習活動の中で、主体性を持ってコミュニケーションを図り、他者や社会に積極的に関わることができること。	・実践的・体験的な学習活動の中で、主体性を持ってコミュニケーションを図り、他者に積極的に関わることができる。	・他者の製品から作者の工夫点を読み取り、尊重しながら製品の良さや改善点などをお互いに積極的に話し合うことができる
J2	・材料と加工、エネルギー変換に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付けた上で、技術と社会や環境との関わりについて理解することができる。	・材料と加工、エネルギー変換に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見つけたとともに、その解決のために工夫し、最適解を見つけることができる。	・学習した知識をもとに考えた最適解を図やプログラム、製品などに表現し、創造することができる。	実践的・体験的な学習活動の中で、主体性を持ってコミュニケーションを図ることができる。	・実践的・体験的な学習活動の中で、コミュニケーションを図り、他者に積極的に関わることができる。	・他者の製品から作者の工夫点を読み取り、尊重しながら製品の良さや改善点などをお互いに積極的に話し合うことができる
J1	・材料と加工、情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付けた上で、技術と社会や環境との関わりについて理解することができる。	・材料と加工、情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見つけたとともに、その解決のために工夫し、最適解を見つけることができる。	・学習した知識をもとに考えた最適解を図やプログラム、製品などに表現し、創造することができる。	実践的・体験的な学習活動の中で、自分の考えを持つことができる。	・実践的・体験的な学習活動の中で、コミュニケーションを図り、他者に関わることができる。	・他者の製品から作者の工夫点を読み取り、尊重しながら製品の良さや改善点などをお互いに積極的に話し合うことができる

SOZAN Global Can-do List (教科: 家庭)

SOZAN Global Can-do List (教科: 家庭)						
目指す生徒像 (教科)	生活の自立に向けて主体的に活用できる知識と技術の習得し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせつつ、家庭や地域など様々な場面において課題を設定し、解決に向けて実践でき、グローバルリーダーとして貢献できる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H1	<ul style="list-style-type: none"> 各分野において日本の文化・伝統とともに世界の各地域の文化等についても理解し、SDGsの実現を目指す社会の一員として、循環型社会推進のためにどうあるべきか理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域の生活の中で生じる課題を生活活動や生活資源と関わらせながら、主体的に解決することができる。 発表を意識しながら必修課題をレポートにまとめ、自分の実践内容を分かりやすく発表し、伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、より良い生活を営むために工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自の家庭生活の中で課題を見つけてテーマを設定し、生活を充実向上させるために主体的に計画を立てて実践し、反省・評価をして次の課題へと発展させることができる。 各分野の実習等で習得した知識及び技能を自らの生活に活用しようとする態度を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する力を身につけることができる。 班単位で行う実践活動などにおいて他者からの意見を踏まえながら実践活動を評価・改善することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各分野に関して、環境に配慮した実践的な行動について考えたり、持続可能な社会を目指す上で必要な一人ひとりの行動について理解を深めたりすることができ、実習等や家庭生活で実践することができる。 家庭クラブ活動をはじめ、様々な社会貢献活動に積極的に参加することができる。
J3	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築や協力・協働・健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点をもって、幼児の成長や消費生活・環境を理解し、それらに係る課題解決に必要な技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭生活や消費生活の中から問題を見いだして見直しをもって課題を設定し、持続可能な社会の構築や協力・協働・健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点から解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活を工夫して課題解決に向けて実践、評価・改善する中で、生活の楽しみや豊かさを見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の生活を見据えて、家族・家庭生活や消費生活・環境についての知識及び技能を進んで習得し、自分の生活の中で積極的に活用することができる。 課題解決に向けて、よりよい方法を見いだそうと自分から調べたり考えたりして、粘り強く取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習やグループワークにおいて、他者の意見を取り入れてよりよい方法を見つけ、目的達成に向けて進めることができる。 他者との議論や協働により、新たな問題発見や解決方法を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会をつくる当事者であり、日本の生活文化を次世代へ継承する立場から、課題を見つけ、解決策を考え評価・改善することができる。
J2	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築や健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点をもって、衣食住や消費生活・環境を理解し、それらに係る課題解決に必要な技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住や消費生活の中から問題を見いだして見直しをもって課題を設定し、解決策を構想して実践を評価、他者からの意見を踏まえるなどして改善でき、考察したことを論理的に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築や健康・快適・安全、生活文化の継承や生活経験などを結び付けて、自分や家族の衣食住や消費生活をよりよくしようと工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの生活に向けて衣食住や消費生活・環境についての知識と技能を進んで習得し、自分の生活の中で積極的に活用することができる。 課題解決に向けて、よりよい方法を見いだそうと自分から調べたり考えたりして、粘り強く取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワークにおいて、全体を見て対等な立場で意見を交わせるように配慮し、よりよい方法を考えることができる。 他者との議論や協働により、新たな問題発見や解決方法を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の生活文化を次世代へ継承する立場であることを自覚して、学習に取り組むことができる。 持続可能な社会の構築などの社会的な問題を自分の生活と結び付けて解決に向けてできることを実践できている。
J1	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の構築や健康・快適・安全、生活文化の継承などの視点をもって、家庭生活や食生活を理解し、それらに係る課題解決に必要な技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭生活や食生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して実践を評価・改善し、考察したことを根拠や理由を明確にして説明や発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験などを結び付けて、自分の家族・家庭生活や食生活をよりよくしようと工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの生活に向けて家族・家庭生活や食生活についての知識と技能を進んで習得し、自分の生活の中で積極的に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワークにおいて、自分の意見を出したり、他者の意見を聞いたりしてよりよい方法を考えることができる。 また、自分の役割を理解し、他者と協力して目的達成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員としてだけでなく、社会の一員としての自分の役割を自覚し、責任をもって家庭生活を営むことができる。

2021_SOZAN Global Can-do List (教科: 外国語・英語)

目指す生徒像(教科)	2021_SOZAN Global Can-do List (教科: 外国語・英語)					
	認知的スキル			非認知的スキル(社会情動的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
育成する資質能力	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱っている内容や情報だけでなく、それに関連する課題について深く調べ、その内容をディスカッションやプレゼンを通して他者と共有し、理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱っている価値観に関する話題を自分で発見し、そのつながりについて深く考察することができる。 それらをつなぐ新たな価値を発見することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱っている価値観に関して自ら課題や疑問点を指摘することができる。 教科書で扱っている価値観に対して、自分の考えを具体的に自分の知識や理由を添えて述べるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の学習方法が確立されており、自ら具体的な課題を設定し、さらに深い学びにつながるように、自律して学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク・ペアワークにおいて相互に敬意を払いながら議論をすることができる。 共通の課題に対して、その解決に向けた考えをグループやペアでまとめることができる。 多様な価値観を受け入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな課題について深く理解し、それについてつねに課題意識を持っており、さまざまな視点から考えることができる。
H2	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱っている内容や情報だけでなく、それらに関連のある素材の内容についてもそのつながりを理解し、そのつながりを自分の言葉で表現することができる。 教科書で扱っている内容や情報に関連する素材をその場で読んだり、聞いたりして理解し、その内容を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱っている価値観に対して、自分の考えを具体的に自分の知識や理由を添えて述べるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の学習を振り返り、適切に自己評価することができる。 学習上の課題に対して、具体的に対処することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク・ペアワークにおいて自ら主体的に役割を理解し、議論することができる。 共通の目的達成に向けて他者に働きかけることができる。 自分とは異なる価値観を発見することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな課題について知識があり、我が国だけでなく他の国や自分や自分以外の立場から論理的に考えることができる。 その問題について自分でどう関わることができるか考えることができる。 	
H1	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱っている内容や情報について読んだり、聞いたりして理解し、その内容を自分の言葉で表現することができる。 教科書で扱っている内容や情報について読んだり、聞いたりして理解したものを、そのまま再現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書で扱っている価値観に対して、自分の考えを簡単に述べるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の学習を振り返り、適切に自己評価することができる。 自己の学習上の課題を発見することができる。 学習上の課題を克服するために試行錯誤することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク・ペアワークにおいて与えられた役割を果たすことができる。 多様な文化や価値観に関心を示すことができる。 学習した内容に関して、課題や疑問点を見出し、他者と情報交換することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな課題について学び、その現状を理解することができる。 その問題について自分の意見を持つことができる。 	
J3	<ul style="list-style-type: none"> 英語を通して、世界や地球規模の諸課題とその解決策の現状を多面的・多角的に理解することができる。 学習内容をもとに情報の収集と分析、根拠に基づいた整理を行い、自分の考えを適切にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界や地球環境の現状・実態から、自分で課題を発見・設定し、解決のために必要な情報を収集して、根拠を明確にした上で、その解決策を英語で表明できる。 他者から提示された解決策について、多角的・多面的に捉え、より良い解決策について意見交換ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書および発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて構造的に理解し、クリティカルに思考して建設的な案を構想できる。 グローバルリーダーとして社会貢献・国際貢献に寄与するための具体的な方策について英語で意見表明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材を自分事としてとらえ、主体的に議論や話し合いに参加し、課題解決や現状改善のための提言を英語で行うことができる。 議論や話し合いにおいて、相手に考えを求めたり、話題を広げたり深めたりするなど、対話を主体的に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話や議論が円滑に図られるよう、タイムマネジメントをしながら、他者の意見を引き出し、アイデアをまとめたりできる。 グループやクラス全体を見て、自分の役割を考えながらコミュニケーション活動をファシリテートし、協働で新たな問題の発見・クリエイティブな解決策の考案ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って、世界に暮らす人々の平和と幸福に貢献することができる。 相手の意見を尊重し、同調や反論をしながら建設的かつ協動的に議論を進めることができる。
J2	<ul style="list-style-type: none"> 英語を通して、世界や地球規模の諸課題とその解決策の現状を理解することができる。 学習内容をもとに情報の収集と分析、根拠に基づいた整理を行い、自分の考えを持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の現状・実態から自分で課題を発見・設定し、解決のために必要な情報を収集した上で、理由を付けてその解決策を英語で提案できる。 他者から提示された解決策について、理由を付けて賛否を表明しながら意見交換ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書および発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて正確に理解することができる。 グローバルリーダーとして社会貢献に寄与するための具体的な方策について英語で意見表明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な話題や題材の学習を通して、感じたこと、考えたことをもとに自分の考えをまとめ、英文の引用や例示、理由付けをするなどして主体的に友達と意見交換をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話や議論が円滑に図られるよう、他者の意見を引き出し、アイデアをまとめたりできる。 グループやクラス全体を見て、自分の役割を考えながらコミュニケーション活動をコーディネートし、協働で新たな問題の発見ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な国の文化や習慣に興味を持ち、異なる考えや価値観を尊重することができる。 相手の立場や気持ちを考え、相手の意見に相槌を返しながら確認し、つなぎ言葉や言い換えを効果的に用いて意見交換をすることができる。
J1	<ul style="list-style-type: none"> 英語を通して、身の回りの諸課題とその解決策の現状を理解することができる。 学習内容をもとに、与えられた情報について正確に理解し、分析することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの現状・実態から自分で課題を発見・設定し、理由を付けて、その解決策を英語で提案できる。 他者から提示された解決策について、質疑応答ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書および発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて正確に理解することができる。 グローバルリーダーとして社会貢献のあり方について英語で提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやりとりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話や議論が円滑に図られるよう、自ら進んで意見を述べたり、アイデアをまとめたりできる。 グループやクラス全体を見て、自分の役割を考えながらコミュニケーション活動をコーディネートできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と異なる意見も大切に、寛容な心を持って謙虚に他者に学ぶことができる。 声の大きさや視線、身振り・手振り等、自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えるための工夫をすることができる。

SOZAN Global Can-do List (教科：保健体育(体育))

目指す生徒像(教科)		運動の合理的な実践を通して、合理的な運動についての知識を深めると共に、技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を高く持ち、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル(社会情緒的スキル)			
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる			
	1幅広い深い教養	2課題発見・解決能力	3新たな価値を創造する力	4主体的に行動する力	5他者と協働する力	6自他を尊重する心	
H3	<ul style="list-style-type: none"> 選択した種目について、そのルール、競技の特性をよく理解し、自ら練習計画を立案、作成することができる。 周囲の環境をよく観察し、安全面に留意して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己、及びグループの特性を踏まえ、目標達成のための練習計画の作成、状況に応じた計画の変更判断が的確にできる。 ゲームを通して発見された課題の克服に向けて練習のテーマを設定し、取り組むことができる。その種目を積極的に楽しもうとする態度がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自学自習、グループ活動の過程において、他者を尊重し、その発言、発案に対し、真摯に向き合い考察・行動ができる。 取り組んでいる種目において、自己、及びグループの目標を定め、合理的な活動を通してその達成を目指し活動することにより、自らの成長の過程を自覚し、新たな価値を創造することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主・自律の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤を作ろうとしている。 本時の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に活動するよう班員に促すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題について、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。 相互にアドバイスをし合い、目標達成に向けてグループのレベルアップを図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内でよく声を掛け合い、励まし合いながら活動ができる。 班員のレベルに応じて、安全面に十分留意した活動ができる。 	
H2	<ul style="list-style-type: none"> 種目について、そのルール、競技の特性をよく理解し、練習をすることができる。 安全面に留意して、適切な判断の下、活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習テーマを明確にし、技術の習得とチーム力向上に向けた取組ができる。 与えられた課題に対し、自己、及びグループの特性に応じてアレンジされた練習をし、ゲームに生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組んでいる種目において、自己、及びグループの目標を定め、合理的な活動を通してその達成を目指し活動することにより、自らの成長の過程を自覚し、新たな価値を創造することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主・自律の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤を作ろうとしている。 本時の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に活動するよう班員に促すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定された練習テーマについて、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。 グループ内で気づいたこと、改善すべきことを積極的に発言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内でよく声を掛け合い、励まし合いながら活動ができる。 班員のレベルに応じて、安全面に十分留意した活動ができる。 	
H1	<ul style="list-style-type: none"> 各種目のルールを理解し、正しく実践することができる。 用具、施設、設備の特性を知り、安全に留意して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の内容を理解し、自己、及びグループのレベルアップを図ることができる。 目標を設定し、目標到達に向けて積極的に活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組んでいる種目において、自己、及びグループの目標を定め、合理的な活動を通してその達成を目指し活動することにより、自らの成長の過程を自覚し、新たな価値を創造することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主・自律の精神を持ち、自らが授業を作り上げていく自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤を作ろうとしている。 本時の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に活動するよう班員に促すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で積極的に発言をし、コミュニケーションを図ろうとしている。 設定された練習テーマについて、グループ内でよく話し合い、相互理解の下で活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内でよく声を掛け合い、励まし合いながら活動ができる。 班員のレベルに応じて、安全面に十分留意した活動ができる。 	
J3	<ul style="list-style-type: none"> 習得した基礎的な知識、技術を生かし、戦術・戦略を自分たちで考え、試合運営も自分たちでできるようにする。 より高い記録を狙って練習を工夫し挑戦することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力の向上についての課題の解決を図るために、動きを発展させ、運動を工夫したり、運動を組み合わせて行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツは、身体の発達やその技術の維持、体力の向上といった効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果も期待できることを説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーを中心に、オリジナルルールを作り、それを基に、グループごとどの様に授業全体に結びつけていけるかを考え行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合ったり、教え合ったりするなど、仲間と豊かに関わり合いながら、互いに役割を果たし、積極的に運動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止などの科学的な知識を理解し、活動することができる。 	
J2	<ul style="list-style-type: none"> 運動の必要性を認識し、積極的に運動やスポーツの合理的な実践に取り組む、心身や社会性に及ぼす効果、体力を高める必要性などを理解できる。 各種目のルールを理解し、正しく実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の趣旨やねらい、適切な運動の行い方について理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。 運動技能上達のための合理的な練習方法を理解し、実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決を目指して取り組む中で得た知識・技能を他の種目や動きに応用し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年次から行っている生徒間で要めることや励ますことを継続し、クラス全体が良い雰囲気の中で授業ができるようにする。 男女という性差だけでなく、生徒の個々の意欲や技術レベルの違いを考えながらクラス全体が良い雰囲気の中で授業が進むにはどうしたらよいかを話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 励まし合ったり、賞賛し合ったりするなど仲間と豊かに関わり合いながら、分担した役割を果たして積極的に運動に取り組むことができる。 各種目の練習内容を理解し、仲間と確認をし、相互にアドバイスをしながら活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止などの科学的な知識を理解し、活動することができる。 	
J1	<ul style="list-style-type: none"> 基礎体力、調整力や敏捷性を養いながら基礎的な運動能力や技術を身に付けることができる。 色々な種目のルールを学び、考えながら身体を動かすことも学ぶことができる。 出来なかったことが出来た時の楽しさを感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力とその要素について理解し、自己の体力の現状に応じて課題を見つけるための体力を高めるための取り組みができる。 運動技能の習得は、合理的な練習が必要であることを理解し、活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツを実際に「する」視点と共に、「見る」視点や「支える」という視点で多様な関わり方があることを踏まえ、運動やスポーツに積極的に関わることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人対個人では、技術レベルが高い生徒が他の生徒に対して教えることができる。 小グループでは、ミスしたチームメイトへの励ましや、良いプレーを積極的に褒めることで、実技に対する不安感を取り除き、また、リーダーを中心にどのようにゲームを進めるか考えることができる。 わざとでなくても衝突したら謝ったり声をかけたりして相手のことを気遣うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間との交流を主にして、自分や仲間への気付き、調整をしながら、楽しく気軽に身体を動かし、仲間と関わり合いながら積極的に運動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止などの科学的な知識を理解し、活動することができる。 	